

事務事業名	単独農地災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G	
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔	
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	0:1550:1	大事業名 農地災害復旧事業
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			中事業名 令和3年単独農地災害復旧事業
				0:5100:6	大事業名	令和3年単独農地災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災した農地(田、畑)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度～ R7 年度)	豪雨災害により、畦畔崩壊などの被災を受けた農地(田・畑)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上か時間雨量20mm以上であることと、1箇所の工事費が13万円以上40万円未満であること。 起債充当率:74%(小災) 受益者負担 通常:4% → R3災:1.35%(担い手に利用権設定している農地は0%)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) R3災 被災箇所確認、復旧工事88箇所	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常より引き下げている。(通常:4%→R3災:1.35%、担い手に利用権を設定している農地は0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	0	9	32	100
イ 完了箇所数(全体386箇所)	箇所	0	34	88	149
ウ 完了率(年度末時点)	%	0	9	32	70
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)	
【R5現年(R3災)】88箇所 工事費:30,044千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円		6,400	22,200	76,900
		その他	千円		168	324	1,404
		一般財源	千円		5,926	7,520	25,696
	事業費計	千円	0	12,494	30,044	104,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農地の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、農家との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。